

本時の目標：ウィーン体制下のヨーロッパについて理解しよう。

### 社会主義思想の成立

●社会主義とはどのような思想だろうか。

(1) イギリス・・・労働条件は徐々に改善

1 \_\_\_\_\_ ・・・労働者の待遇改善を唱え、労働組合や協同組合の設立に努力

2 \_\_\_\_\_ 法（1833年）・・・年少者の労働時間制限

(2) フランス・・・社会主義者の活動

3 \_\_\_\_\_ ・フーリエ・・・労働者階級を保護する新しい社会秩序の樹立をはかる。

4 \_\_\_\_\_ ・・・生産の国家統制を主張

5 \_\_\_\_\_ ・・・すべての政治的権威を否定する無政府主義を提唱

(3) ドイツ

6 \_\_\_\_\_ (独)・・・1848年、友人のエンゲルスと『7 \_\_\_\_\_ 』を発表

資本主義体制の没落は歴史の必然とする経済学説を展開

⇒「8 \_\_\_\_\_ 社会主義」と自称、他の社会主義の理論を「9 \_\_\_\_\_ 社会主義」と非難

その思想は、10 \_\_\_\_\_ 主義とよばれて、以後の社会主義運動に大きな影響を与える。

### 1848年革命

(1) 背景・・・現状の改善を求める革命的気運の高まり

諸国で産業革命や改革が進展し、社会的規制からの解放が進むが、労働者や下層民衆、貧農などに雇用機会を提供できず、人口増加により「大衆貧困」と呼ばれる社会問題

1840年代後半の凶作と不況

(2) 11 \_\_\_\_\_ 革命・・・フランスで銀行家など一部富裕層に富みが集中し、極端な12 \_\_\_\_\_ 選挙

⇒1848年パリで革命勃発し、ルイ=フィリップ亡命、共和政の

臨時政府樹立（13 \_\_\_\_\_ ）

① 臨時政府・・・社会主義者14 \_\_\_\_\_ らが加わる

⇒有産層や農民は急進的な政策を望まず、15 \_\_\_\_\_ 選挙制による 1848 年 4 月の選挙で、社会主義者は大敗し、穏健派の政府が成立

② 16 \_\_\_\_\_ 蜂起・・・17 \_\_\_\_\_ が財政負担を理由に廃止されたことに抗議するのが目的

③ 大統領選挙（1848 年 12 月）・・・18 \_\_\_\_\_ 当選（ナポレオン 1 世の甥）  
⇒クーデターで独裁権（1851 年）

国民投票で皇帝に即位（1852 年）して19 \_\_\_\_\_ と称する

・・・20 \_\_\_\_\_ のはじまり

(3) 21 \_\_\_\_\_ 革命（1848 年）・・・ドイツ・オーストリアに波及

ウィーン三月革命・・・22 \_\_\_\_\_ 失脚

ベルリン三月革命・・・民衆蜂起⇒プロイセン国王の譲歩により自由主義的内閣成立

23 \_\_\_\_\_ 国民議会（1848 年～49 年）・・・統一と憲法制定に結集

小ドイツ主義・・・

大ドイツ主義・・・

「24 \_\_\_\_\_」・・・ペーメン・ハンガリー・イタリアでも民族運動高揚

⇒ウィーン体制崩壊、一連の革命・民族運動は25 \_\_\_\_\_ と総称される。

(4) 王権や保守勢力の巻き返し

プロイセン国王・・・自由主義内閣を退け、国民議会が要請したドイツ皇帝の地位も拒否

オーストリア・・・革命運動・民族運動を武力で抑え込み、50 年代には議会も無力化して、

「26 \_\_\_\_\_」の反動体制成立

(5) 意義

西欧諸国：自由主義・民主主義による政治改革が目標

東欧諸国：ナショナリズムによる民族自立が目標

目標の達成度を 5 段階で評価しよう。

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

○本時の感想と疑問点を記述してください。